

石川伊織教授 略年譜・著作目録

研究分野

哲学、美学、倫理学、ジェンダー研究

主要担当科目

哲学、哲学・倫理学、哲学演習、倫理学演習、原書講読 A・B(ドイツ語)、ジェンダー、世界文学、卒業研究

略年譜

- 1956年9月 東京都東大和市に生まれる
- 1975年4月 東京都立大学人文学部入学
- 1980年3月 東京都立大学人文学部文学科ドイツ文学専攻卒業・文学士
- 1981年4月 法政大学大学院人文科学研究科(修士課程)哲学専攻入学
- 1984年3月 法政大学大学院人文科学研究科(修士課程)哲学専攻修了・文学修士
- 1984年4月 法政大学大学院人文科学研究科(博士課程)哲学専攻入学
- 1988年3月 法政大学大学院人文科学研究科(博士課程)哲学専攻単位取得満期退学
- 1988年4月 法政大学文学部兼任講師(1993年3月まで)
- 1990年4月 法政大学工学部兼任講師(1996年3月まで)
- 1991年4月 東京電機大学理工学部非常勤講師(1996年3月まで)
- 1993年4月 法政大学経済学部兼任講師(1996年3月まで)
- 1993年4月 法政大学社会学部兼任講師(1996年3月まで)
- 1993年4月 多摩美術大学非常勤講師(1996年3月まで)
- 1993年8月 法政大学通信教育部兼任講師(当年限り)
- 1996年4月 高崎経済大学非常勤講師(1998年3月まで)
- 1996年4月 県立新潟女子短期大学国際教養学科助教授(法改正に伴い、2007年4月准教授)
- 1998年8月 新潟大学教育学部社会教育主事講習非常勤講師(講習開催年に限り兼務・2019年まで)
- 2004年4月 新潟経営大学非常勤講師(当年限り)
- 2006年4月 新潟青陵短期大学人間総合学科非常勤講師(2008年まで)
- 2011年4月 新潟県立大学国際地域学部国際地域学科教授(現在に至る)

学会及び社会における活動

所属学会等

- 所属学会：日本哲学会、日本倫理学会、日本ヘーゲル学会、法政哲学会、国際地域研究学会
- 2005年4月 日本ヘーゲル学会編集委員(2009年3月まで)
 - 2013年4月 国際地域研究学会誌『国際地域研究論集』第3期編集委員・編集長(2015年3月まで)
 - 2013年4月 日本哲学会編集委員(2017年まで)

- 2015年4月 日本ヘーゲル学会理事(2019年3月まで)
2021年12月 法政哲学会理事(現在に至る)

審議会委員等

- 1997年4月 新潟県女性財団 企画運営委員(2007年3月まで)
2000年10月 平成12年度科学技術振興調整費調査研究・生命倫理に関わる諸問題に関する研究開発動向及び社会的合意形成に関する調査 企画・検討ワーキンググループ委員(リーダー:位田隆一京都大学大学院法学研究科教授 実施:三井情報開発(株)総合研究所)
2001年度 新潟県農林水産部経営普及課 にいがた農山漁村男女平等推進ビジョン策定委員
2002年度 (旧)白根市男女共同参画推進プラン策定委員・アドバイザー
2004年度 柏崎市男女共同参画条例策定ワーキンググループ・アドバイザー
2005年度 村上市男女共同参画プラン・アドバイザー
2005年度 魚沼市男女共同参画推進計画策定委員・アドバイザー
2005年9月 柏崎市男女共同参画条例策定委員・アドバイザー(2006年度末まで)
2005年度 新潟県農林水産部経営普及課 にいがた農山漁村男女平等推進ビジョン改定委員
2006年度 五泉市男女共同参画計画策定委員・アドバイザー
2007年4月 長岡市男女共同参画条例策定委員・副委員長(2010年度末まで)
2008年度 十日町市男女共同参画計画策定委員・アドバイザー
2008年4月 NPO 法人頸城野郷土資料室理事(現在に至る)
2009年4月 五泉市男女共同参画推進条例検討委員(2010年度末まで)
2011年4月 長岡市男女共同参画審議会委員・委員長(現在に至る)
2011年9月 村上市男女共同参画計画策定委員・アドバイザー(2012年度末まで)
2016年2月 NPO 法人頸城野郷土資料室紀要論文編集(査読)委員(現在に至る)

主要著作

著書

- 2001年1月 『ヘーゲルを学ぶ人のために』世界思想社(加藤尚武編・共著)
2002年5月 『倫理の危機?——「個人」を超えた価値の再構築へ』廣済堂(単著)
2007年7月 『哲学の歴史7 理性の劇場 18-19世紀 カントとドイツ観念論』中央公論新社(加藤尚武編・共著)
2008年10月 『グローバル・エシックスを考える「9.11」以後の世界と倫理』梓出版(共著)
2011年2月 『「裏日本」文化ルネッサンス』社会評論社(編著)
2017年3月 『知の史的探究——社会思想史の世界——』八千代出版(壽福眞美監修・共著)

辞書・事典

- 1992年2月 『ヘーゲル事典』(共著)弘文堂
1997年12月 『カント事典』(共著)弘文堂
2003年1月 『哲学・思想翻訳語事典』(共著)論創社
2006年12月 『現代倫理学事典』(共著)弘文堂
2010年6月 NPO 法人頸城野郷土資料室[編]『くびき野文化事典』(編著)社会評論社

報告書

- 2001年3月 『男女図式 あなたの未来をシミュレーション』(平成12年度文部科学省委嘱事業・青年男女の共同参画セミナー報告書)
- 2007年3月 『県立新潟女子短期大学 2006年度・2007年度共同研究「教養教育の戦略的再構築——メディア・人間・世界」中間報告書』(小谷一明、黒田俊郎、福本圭介、水上則子、柳町裕子と共著)
- 2008年3月 『県立新潟女子短期大学 2006年度・2007年度共同研究「教養教育の戦略的再構築——メディア・人間・世界」最終報告書』(小谷一明、黒田俊郎、福本圭介、水上則子、柳町裕子と共著)
- 2012年3月 『ヘーゲルとオリент ヘーゲル世界史哲学にオリент世界像を結ばせた文化接触資料とその世界史像の反歴史性』2009~2011年度 科学研究費補助金 基盤研究(B) 課題番号213200008 研究成果報告書(共著 研究代表者:神山伸弘跡見学園女子大学文学部教授)
- 2019年3月 『ヘーゲル美学講義に結実した芸術体験の実証的研究』2014年度~2018年度 科学研究費 基盤研究(B) 課題番号:26284020 研究成果報告書(冊子及び付録DVD。編著 研究代表者:石川伊織)

論文

- 1996年10月 「「読む」とはいかなる行為か」(単著)『東京電機大学理工学部紀要』Vol.18.
- 1999年3月 「オペラ“Curlew River”における能『隅田川』の変容」(単著)『県立新潟女子短期大学研究紀要』第36集
- 2002年3月 「長谷川訳『精神現象学』は感動の新訳か？」(神山伸弘、柴田隆行と共著)『理想』No.668 理想社
- 2002年11月 「希薄化する身体性のリアリティ」(単著)『新潟ジェンダー研究』No.4
- 2004年3月 「椎名林檎における「歌」の解体と再生」(単著)『県立新潟女子短期大学研究紀要』第41集
- 2006年2月 「柏崎市市民意識調査に見るジェンダー問題」(単著)『新潟ジェンダー研究』No.6
- 2008年3月 「旅の日のヘーゲル——美学体系と音楽体験:1824年9月 ヴィーン——」(単著)『県立新潟女子短期大学研究紀要』第45集
- 2016年3月 「ヘーゲルの『美学講義(1820/21)』における人相学と頭蓋論をめぐる諸問題」(単著)『国際地域研究論集』(国際地域研究学会)第7号
- 2017年12月 「ヘーゲルの絵画論——ヘーゲル美学講義に結実した芸術体験をめぐって」(単著)『ヘーゲル哲学研究』(日本ヘーゲル学会)Vol.23
- 2019年3月 「ヘーゲルの見た絵画 十九世紀初頭における絵画作品の〈移動〉とヘーゲル『美学講義』」(単著)『法政哲学』(法政哲学学会)第15号
- 2020年3月 「ヘーゲルと二人のマリア」(単著)『国際地域研究論集』(国際地域研究学会)第11号

翻訳

- 2017年4月 G.W.F.ヘーゲル『美学講義』(Georg Wilhelm Friedrich Hegel. Vorlesung über Ästhetik, Berlin 1820/21. Ein Nachschrift, hrsg. von Helmut Schneider, Frankfurt am Main Peter Lamg, 1995 寄川条路、小川真人、瀧本有香と共訳)法政大学出版局 叢書・ユニベルシタス 1057

書評・資料紹介

- 2006年12月 「書評:ゲートマン=ジューフェルト他編『芸術の哲学または美学、ヘーゲルによる、1826年夏』(フィンク書店2004年)」(単著)『ヘーゲル哲学研究』(日本ヘーゲル学会編)vol.12
- 2008年6月 「書評:片山善博氏著『差異と承認——共生理念の構築を目指して——』を読む」(単著)『法政哲学』第4号
- 2014年8月 「書評:鉄道友の会新潟支部編『新潟の鉄道 あの日の思い出』(新潟日報事業社2014年)」(単著)『新潟日報』2014年8月31日付け朝刊24面書評欄「こいがたの一冊」
- 2021年1月 「書評:稲原・川崎・中澤・宮原編著『フェミニスト現象学入門』」(単著)『図書新聞』No.3477
- 2021年3月 「『美学』概念はいかにして形成されたか?」(単著)『頸城野郷土資料室学術研究部研究紀要』(Webジャーナル)Vol.6/No.5 資料紹介

学会・研究会報告

- 2002年7月 「長谷川訳『精神現象学』の問題点」(単独)19・20世紀古典読書会例会(東京電機大学神田校舎)
- 2002年10月 「バーチャルな主体・リアルな世界?」(単独)第27回社会思想史学会大会(専修大学)
- 2003年6月 「ヘーゲル・テキストデータベースの歴史と文字コード問題」(シンポジウム、共同発表者:神山伸弘、長島隆)第52回ヘーゲル研究会(御茶ノ水女子大学)におけるシンポジウム『デジタル・ヘーゲル』
- 2003年12月 「保育とジェンダー」(シンポジウム)ジェンダー視点に立った研究・教育者ネットワーク(新潟)主催シンポジウム(新潟市万代市民会館)
- 2007年10月 「国家に対する態度」(共同報告者:大橋容一郎・伊藤博美、司会:加藤泰史)日本倫理学会第58回大会(於新潟大学)ワークショップ「グローバル化と愛国心」
- 2012年6月 「ヘーゲルの歴史哲学を読む」(共同報告者:神山伸弘、寄川条路、工藤 豊)19・20世紀古典読書会・アートメチェ研究会(事務局:石塚正英、東京電機大学千住キャンパス)
- 2013年2月 「『精神現象学』理性章 C を読む」(単独)日本ヘーゲル学会公開セミナー『精神現象学を読む』第III期第2回(跡見学園女子大学茗荷谷キャンパス)
- 2013年6月 「『精神現象学』宗教章 冒頭における宗教の位置づけと意義」(討論者:飯泉佑介、真田美沙、司会・コーディネーター:石川伊織)日本ヘーゲル学会第17回研究大会ワークショップ(宇都宮大学)
- 2014年6月 「Kunstとは何か? Werkとは何か? 『精神現象学』宗教章 B「芸術宗教」論における悲劇と喜劇」(討論者:飯泉佑介、真田美沙、司会・コーディネーター:石川伊織)日本ヘーゲル学会第19回研究大会ワークショップ(明治学院大学)
- 2015年6月 「宗教の人間化 神と Gemeinde をめぐる諸問題——『精神現象学』宗教章 C「啓示宗教」論における神と共同体」(討論者:飯泉佑介、矢島義英、司会・コーディネーター:石川伊織)日本ヘーゲル学会第21回大会ワークショップ(高野山大学)
- 2016年12月 「ヘーゲルの絵画論:ヘーゲルは何を見て、何を考えたか?」(共同報告者:柴田隆行、村田宏、司会:佐藤康邦)日本ヘーゲル学会第24回大会シンポジウム「ヘーゲルの絵画論:ヘーゲルは何を見て、何を考えたか?—ヘーゲル美学講義に結実した芸術体験をめぐって」(明治大学)
- 2018年5月 「ヘーゲルの見た絵画——19世紀初頭における絵画作品の〈移動〉とヘーゲル『美学講義』」(単独)法政哲学学会第38回研究大会(法政大学市谷校舎)

- 2018年11月 「19世紀初頭のヨーロッパにおける美術館の形成とナポレオン戦争」(単独)国際地域研究学会 2018年度研究大会 口頭発表
- 2018年11月 「Kunstkammer から公開の美術館へ:美術館における歴史的展示とフランス革命」(単独)国際地域研究学会 2018年度研究大会 ポスターセッション
- 2019年10月 「ヘーゲルと二人のマリア」(共同報告者:小島優子・世話人:後藤浩子・討論者:野尻英一)社会思想史学会(甲南大学)セッション F「社会思想におけるリプロダクション」

講演

- 2011年10月 「与謝野晶子・旅と鉄道 地理感覚はどのようにして作られるか?」(単独)東京都東大和市図書館友の会講演会(東大和市立中央図書館視聴覚室)
- 2012年1月 「次期「新潟県男女平等推進プラン」策定に向けて——現プランから見えてくる課題ととりくみ——」(単独)北京 JAC 新潟講演
- 2013年10月 「信越線と裏日本——鉄道の近代化とくびき野」(単独)上越市社会貢献支援事業「歴史・文化・交通等から見た直江津」第一回:上越市直江津図書館・直江津学びの交流館
- 2014年2月 「話せない子ども、聴けない(聴かない)大人——話を聞くということについて——」(単独)五泉市ボランティア連絡協議会研修会
- 2016年8月 「戦後、女は強くなったか?」(単独)新潟市民大学:クロスパル新潟
- 2017年3月 「女性の作曲家、何人知ってる? レクチャー&コンサート」(講演:石川伊織、フルート:金子由香里、ソプラノ:伊藤舞、ピアノ:佐々木和子)新潟市西区男女共同参画講演会
- 2017年9月 「黎明期の北越鉄道(上越篇)」(単独)鉄道友の会新潟支部招待講演・信越線開通120周年記念講演会:上越市立直江津図書館
- 2017年11月 「黎明期の北越鉄道と新潟」(単独)鉄道友の会新潟支部招待講演・信越線開通120周年記念講演会:アルザにいがた
- 2020年12月 「「学問の自由」なんてあるのか?——日本学術会議の「任命拒否」問題を考える——」(単独)東区「改憲・戦争とめよう!にいがた大行進」主催、新潟市東区プラザ
- 2021年3月 「学問と権力」(パネルディスカッション 報告者:佐々木寛、鈴木賢治、池内了)「学問の自由を考える会」主催、新潟大学ときメイト